

神戸学院大学 第2次中期行動計画 中期計画(第3層) 2022年度達成度評価表 分野:研究

		評価	理由
中期目標	多様で優れた学術研究を奨励し、その成果を広く社会に還元するとともに、地域と連携した特色ある研究の拠点形成を推進します。		
中期計画	1 研究環境の整備充実	B	全学研究推進委員会等において、大学の中長期の視点に立ち、研究設備・施設の整備を年次計画で作成できている。機関決定を経て、整備計画通りに文部科学省「令和4年度私立大学等研究設備整備等補助金」への計画調書が申請提出され、同補助金の採択により大型研究装置(Q-TOF LC-MS/MS)を設置できたことは評価できる。また、不正防止計画推進委員会を中心に、研修会等の開催を通して、本学における公的研究費の適正使用に関する意識向上を図ることができており、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」改正に伴う不正防止対策の強化も推進できている点も評価できる。今後も引き続き、研究拠点や学部間・研究科間の研究連携体制の構築に向けて情報収集に努め、本学の研究環境のさらなる充実が図られることを期待する。
	2 多様な外部資金の獲得	B	研究支援センター及び産学連携推進室を中心に、外部資金獲得のための支援体制整備が進んでいる。特に、共同研究の件数及びその金額に大幅な増加がみられる点は評価できる。科学研究費等競争的資金についても、各学部・機構において積極的な申請を促すための啓発や奨励活動に取り組むことができており、しかし、大学全体としての申請件数が伸び悩んでいるため、引き続き現状を分析するとともに情報収集に努め、さらなる外部資金獲得に向けた環境の整備や申請支援方策の策定が望まれる。
	3 学内・学外との研究連携促進	B	各学部・研究科において、地域社会と連携した研究活動に積極的に取り組むことができており。特に、総合リハビリテーション学研究科では、他法人との新たな連携協定締結が実現しており、今後は実質的な連携が期待できる。また、人文学部では、コロナ禍での新たな取り組みとして「明石ハウス通信」を刊行し、研究成果の情報発信を通じて地域住民との交流を深めながら地域研究を推進している。心理学部では、地域市民等対象の心理臨床カウンセリングセンターフォーラムを開催し、教員や学生が地域市民と関わる実践的研究の推進に取り組んでいる。一方、産学連携を促進するため、研究支援センターのサポートのもと、本学所有特許に係る発明者(本学研究者)が各種の産学関連展示会等への出展を通して、関係企業や団体等に研究成果をPRする活動も継続実施できている。2023年度以降もさらなる活性化に向けて、各学部・研究科において取組みが推進され、学内・学外との新たな研究連携や産官学共同研究へと展開されることを期待する。

評価 S:目標よりはるかに上回る、A:目標をやや上回る、B:おおむね目標どおり、C:目標をやや下回る、D:目標をかなり下回る